

侍の日常 陸

相馬野馬追には多くの侍が出陣し、勇壮な姿を見せます。しかし、1年に3日間のハレの日以外は、侍たちは鎧を脱ぎ、各々の仕事や学業に打ち込み、暮らしているのです。



2カ月間は朝4時からの練習後に出勤です。まあ、娘たちと一緒に世話をしたり散歩させたり、普段から馬ばかりの日々ですけれどね。
妻と娘たちはフラダンスに打ち込んでいて、発表会に行くのが休日の楽しみです。年に数回はドイツ、ニderlandまで遠出するのも恒例です。それぞれ一生懸命にすることがある分、家族みんなで出かけるのが癒しの時間になっています。

わがつま たかし
我妻 隆 殿 (48)
役付：先頭御先乗



神旗争奪戦で旗を取る父に憧れて、高2で初出陣しました。初めて旗を取った年齢は覚えていないけど、旗を持って羊腸の坂を登っていくときの歓声は鳥肌が立つくらい気持ちよくて忘れられないねえ。
甲冑競馬は、レベルの高い騎手が集まる第一レースにこだわっています。観客も注目するからこそ勝ちたくて、野馬追前の

ななんだか気になる
みなみそま

2024 Winter
Minamisoma Topics

旬のニュース、意外と知らないとっておきの話などなど「ななんだか気になる」南相馬市の話題をピックアップ！

千年以上続く鎮火祭

鹿島御子神社の火伏せ祭り

正月の気配がおぼろげに残る夜。鹿島の町には「火伏せー！」という威勢のいい声が響きわたります。見渡せば、水の入った桶があちこちに置かれ、雨が降ったわけでもないのに住宅や道路が濡れている……。一体なぜ？その正体は「火伏せ祭り」。1200年前に始まった、無火災と無病息災を願う祭りです。



▲周囲の人の着込み具合から、寒さがうかがえます

鹿島中が火の海に包まれたところ、水を含んだ笹をくわえた鹿たちが集まり、業火を消したのが起源とされる火伏せ祭り。現在は1月前半の土曜夕方から日曜早朝にかけて行われています。
土曜日の前夜祭では、神主の祈祷後、約100名の若者たちが家や商店に水を打ちかけ歩きます。極寒の中、若者が白足袋に法被姿で行列する様子などから、火伏せ祭りは奇祭と言われることもあるようです。住民たちは屋内から様子を見て傾合いを計り、軒先や火焚場所で行く一行をお出迎え。豚汁や酒など、寒さをひと時忘れられるような振る舞いをし、暖をとりながら一緒に祭りを楽しみます。ワイワイする雰囲気にも引き込まれる若者も多く、行列を最後まで歩きたいのは約半数ほど。「終着点の秋葉神社まで歩いたら一人前と言われた時代もありました」と、火伏せ祭りを執り行う宮司の森昭文さんは話します。
翌朝の天燈籠祭には、一年の安寧を願いに人々が集まります。神主は獅子頭に齧られるお祓いを受けた後、「祝儀」の掛け声とともに氏子らに冷水を浴びせられ、濡れたままの装束でご祈祷を行うのです。「正直、震えるほど寒くて大変。清められた状態でも願うから受けられるご利益もあるはずと思っ、なんとか耐えます」と笑みも見せる森さん。厳しい寒さも楽しんでこそ、よき一年を迎えられるのかもしれません。

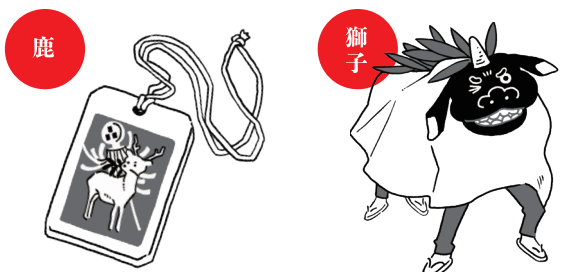
火伏せ祭りに参加してみませんか？



鹿島御子神社 宮司 森 昭文さん

住んでいる場所を問わず、どなたでも参加することができます。行列に加わるのはもちろん、住民に混ざって若者たちを迎えたり、火伏せ祭りならではの光景を写真におさめたり。気になった方は自分に合うスタンスで、火伏せ祭りをぜひ楽しみに来てください！

お問い合わせ
鹿島御子神社
所在地：南相馬市鹿島区鹿島字町199
電話：0244-46-2373



鹿は、鹿島御子神社の神使。行列に参加する若者たちは、笹をくわえた鹿と社紋が入った纏のイラストが描かれた木札を首にかけ、町内をまわる
神楽で登場する黒獅子。神主にパクッと噛みつき、悪魔祓いをする。ウインクをするチャーミングな一面にも注目

鹿島の平穏を守る動物たち
イラスト：川田季代

my favorite MIYAGE
at Minamisoma

わたしの推しみやげ



Shop Information

所在地 〒979-2444 南相馬市鹿島区岡和田窪畑53
電話番号 0244-46-3163

注文はこちらから



その4

豊田農園

純米大吟醸酒 soma

ちょっとした差し入れに、とっておきの贈り物に、メイドイン南相馬の一品はいかがでしょう？南相馬市で暮らす人々に、おすすめのおみやげと理由を教えてくださいました。

南相馬市の若い生産者の方たちが、丹精込めて栽培したお米を使用している純米大吟醸酒です。華やかな香りで口当たりがよく、癖のない飲みやすいお酒。和洋中を問わず多彩な料理に合わせることができるおすすめの本一です。



抱月荘 総料理長 高藤 明彦さん